

## 2021年度 第5回OR学会理事会 議事録

日時: 2021年12月21日(火)17:05~18:45

場所: オンライン開催

出席者: 田辺, 田村, 山田, 原田, 鳥海, 鶴飼, 山下, 永井, 土谷, 野々部, 諸星, 西松,  
森口, 奥田(途中参加), 古川, 田中

欠席者: 田口

出席監事: 細田, 松林

庶務幹事: 山中(書記)

事務局: 長谷, 滝沢

### 【議長の選出】

原田庶務理事より、「定款第 32 条にもとづき、理事会の議長は会長がこれに当たるとあるが、田口会長が欠席のため、代表理事の中から議長を選出する」との説明があり、田辺副会長が議長に選出された。

審議に先立ち、議長である田辺副会長より、「審議事項の資料番号には A から始まる番号を、報告事項については B から始まる番号を付与している」との説明があった。

### 【定足数の確認】

議長である田辺副会長より、「定款第 31 条にもとづき、出席している理事の人数は定足数である 9 名(決議について特別な利害関係を有する理事を除く理事 17 名の過半数)以上であることから、理事会は成立する」との説明があった。

### 【審議事項】

#### A1. 第 4 回理事会議事録確認

原田庶務理事より説明があり、承認された。

#### A2. 入会・シニア・特別会員承認の件

事務局に代わり鳥海庶務理事より説明があり、承認された。

鳥海庶務理事より、「12 月初旬に行われたフェロー会議の場でご逝去されたとの報告があった方について退会として扱い、また、学生会員については無料会員が終了することなどにより退会が増えてきている」との報告があった。

#### A3. 2021 年秋季研究発表会およびシンポジウム決算の件

山下研究理事より説明があり、承認された。

山下研究理事より、「従来はシンポジウムで支出超過となるが多かったが、今回はシンポジウムでも収益を確保できた」との報告があった。

山下研究理事より、「シンポジウムについては講演者への依頼の難しいこと、支出超過の傾向があることから実施について考える余地があるのではないか」との意見があった。

A4. 2022 年度支部事業費の件

山下研究理事より説明があり、承認された。

鳥海庶務理事より、「資料の P5 の参加予定人数が 40 人とあるが内訳の合計が 35 人となっている」という指摘があったが、中国四国支部にコメントすることとなり、審議には大きな影響はないという判断のもと承認された。

A5. 国内渉外に関する内規改定の件

山下研究理事より説明があり、承認された。

山下研究理事より、「4-11-1 国内渉外に関する内規では、「本学会が主催の場合の他学会の共催、協賛、後援」についての判断基準、及び、「共催、協賛、後援」についての判断基準について追加した」との報告があった。

また、山下研究理事より、「次回の春季研究発表会について実行委員長から群馬大学を協賛または後援にしたいとの申し入れがあったが、内規改定前であったことから研究普及委員会で判断したこと、次回以降同様の事案に対しては改定後の内規にもとづき判断する」との報告があった。

原田庶務理事より、「内規の改定については理事の判断で行ってもよいので審議事項としてではなく報告事項として扱うことも可能である」との指摘があった。

A6. 2021 年度第 2 回 OR セミナー収支報告の件

永井普及理事より説明があり、承認された。

収支報告については永井普及理事より、「参加者を 60 名と見込んでいたが 36 名と少なかったこと、広告募集を行わなかったことにより収入が予算よりも減ってしまったが、参加者数の減少に伴い Web 関連の費用や印刷費用の減少、学生アルバイトのキャンセルなどにより支出も少なくなったため当初の収支との差はさほど発生しなかった」との報告があった。

鳥海庶務理事より、「特定団体の数量が 1 となっているが実質的には 8 人の参加申し込みとなっているため参加人数の合計が 36 となっているという認識でよいか」という質問があり永井普及理事より、「その通り」という回答があった。

アンケートについては永井普及理事より「演習部分を事前に録画し、セミナー前に動画が配信されていた点が高評価であった」との報告と、「動画について安価で販売できないか」というコメントがあったため、今後こういった方向性も考えるべきではないか」という意見があった。

A7. 2022 年度の普及関連事業の件

永井普及理事より説明があり、承認された。

永井普及理事より、「第 3 回については機械学習を取り上げたいと考えているが他のセミナーなどで機械学習を取り上げたものが多くあるため、OR 学会としてどのような内容にするべきか検討中」との説明があった。

著作権の扱いについては以下の通り、条件付きで承認された。

著作権は基本的に講師側に帰属し、利用についてトラブルがないよう摺合せを行う方針とする。ただし、本件について普及理事・庶務から顧問弁護士に確認を行い、懸念事項がない場合には本理事会にて承認とするが、懸念事項がある場合には次回以降の理事会にて再度審議を行うものとする。

上記に関する議論は以下の通り。

土谷編集理事より、「著作権は講師側に帰属し、本セミナーでの利用を許可するといった覚書のようなものを用意するのはどうか」といった意見があり、それに対して鳥海庶務理事より、「学会の活動が阻害されないよう権利が及ぶ範囲を決めておくべきである」という意見があった。また、原田庶務理事より、「上記について反対とまでは言わないが、一度認めてしまうと今後のセミナーで著作権を講師側が持ち続けてしまうのではないかと危惧しており、何らかの線引きが必要ではなか」という意見があった。鵜飼国際理事より、「セミナー資料を再利用することはあるか」という質問があり、永井普及理事より、「あまりないと思われる」と回答し、それに対して鵜飼国際理事より、「再利用の機会が少ないのであれば著作権を学会側で管理する必要性はないのではないか」という意見があった。田辺副会長より、「講師側に著作権を放棄してもらおうというのは筋が通っておらず、再利用が少ないことを加味すると約束事を取り決めたくえでセミナーを実施してもらおうというのはいいことではないか」という意見があり、永井普及理事より、「著作権のことは問題となりやすいため著作権を講師側に帰属することで運営がしやすくなる」という意見があった。鳥海庶務理事より、「顧問弁護士にご意見を伺い反映した形で進めていく必要があるのではないか」という意見があった。また、原田庶務理事より、「無条件で講師側に著作権が帰属するとなった場合、著作権規程との整合性が取れなくなる可能性がある」との指摘があったため、鳥海庶務理事の意見にある通り、顧問弁護士に確認を行う必要があるという結論となった。

A8. OR セミナー実施手順の改定の件

永井普及理事より説明があり、承認された。

A9. 2020 年度「研究者海外研修支援事業」の延期の件

鵜飼国際理事より説明があり、承認された。

A10. 事務局体制の件

原田庶務理事より以下のような説明があり、承認された。

原田庶務理事より、「現状、鳥海庶務理事が事務局長を兼任しており、庶務で把握できない部分については元事務局長である滝沢事務員にサポートいただいている状況となっている。滝沢事務員も長期的な参画が難しく、次期事務局長の選任が急務となっている。そのような中で、次期会長候補である山上様から長谷様を紹介いただき、田口会長・両庶務理事での面談の結果、事務局長にご就任いただきたいと考えている」との説明があった。田辺副会長・土谷国際理事より、就任を歓迎するコメントをいただいた。

また、本理事会に長谷事務員が参加していたため自己紹介をいただいた。

#### A11. 機関誌お知らせコンテンツの削減に関する件

原田庶務理事より説明があり、承認された。

田村副会長より、「学生論文賞のアブストラクトは推薦文に変更する」という指摘があり、原田庶務理事より、「機関誌お知らせコンテンツの表については完全な状態ではないため修正後再度アップロードする」との回答があった。また、土谷編集理事より、機関誌掲載論文概要に関する問い合わせについて原田庶務理事への確認があった。森口広報理事より、「将来管轄が選挙管理委員会となっているものについて、選挙管理委員会は直接投稿する権限がないと思われる」という指摘があり、原田庶務理事より、「事務局の管轄ではなく庶務または選挙管理委員会に管轄を移したいと考えている」との回答があった。鳥海庶務理事より、「選挙管理委員会自体、監事が行うが、監事だけで管轄を持つのは大変であると考えているため、庶務とともに行うという方向でよいと考えている」との補足があった。

追悼文を伴う訃報の掲載に関するガイドラインについては以下の通り、承認された。  
追悼文を伴う訃報の掲載について、基本的に会長経験者のみ記載するという方針のもとガイドライン作成の検討を行う。

上記に関する議論は以下の通り。

滝沢事務員より、「直近である会員の方から、「副会長経験者をご逝去されたため追悼文を記載すべきではないか」とのご連絡があり、事務局から庶務理事に報告したうえで、追悼文の掲載についての調査を行った。調査結果として、10年以上前は副会長経験者の訃報の記載が見られたが、直近10年は会長経験者のみ記載されている状況となっているため、ご連絡いただいた会員の方には、「副会長経験者は記載しない方針である」と伝える予定である」との報告があった。森口広報理事より、「追悼文は紙面掲載、訃報についてはWeb掲載とすみわけするという認識でよいか」という質問があり、原田庶務理事より、「訃報と追悼文については紙面掲載・Web掲載の区別をすることは想定していない」との回答があった。土谷編集理事より、「名前だけ載せた訃報の掲載はいろいろな学会でも実施されており、コミュニティとして人のつながりは大切かと思うので掲載した方がよいのではないか」という意見と、「訃報に伴う追悼文については会長経験者のみでよいのではないか」という意見があった。田村副会長より、「土谷編集理事の意見に加え、ご逝去された方のリストが更新されていないというのは問題ではないか」という指摘があった。鳥海庶務理事より、

「逝去された方のリストについて誤ってご逝去されたとの報告を受けるケースもあるため事務局でご逝去された方のリストを作成・更新するというのは大変である」という意見があった。鵜飼国際理事より、「会長経験者であれば訃報は事務局に届くであろうという観点からも会長経験者のみとする方針でよいのではないか」という意見があった。上記を踏まえ、「追悼文を伴う訃報の記載については基本的に会長経験者のみ記載するという方針のもと検討を進める」という結論となった。

A12. 電子投票システム導入に伴う役員規程改定の件

原田庶務理事より説明があり、承認された。

土谷編集理事より、「信任投票の手段を明記した方がいいのでは」という指摘があり、鳥海庶務理事より「選挙まで時間がないということもあるため、まずは明記しない方向で改定し、問題が発生するようであれば再度、理事会にて改定について審議するという方針としたい」との回答があった。

A13. 旧 Web サーバの契約延長の件

田辺広報委員長より説明があり、承認された。

メールマガジンについては田辺広報委員長より、「移行を完了せずにサーバを停止してしまうとメールマガジンが配信されなくなってしまうため旧 Web サーバの契約を2022年3月末まで延期したい」との報告があった。

CORSJの記事ランキングページについては田辺広報委員長より、「2021年12月21日時点で解決している」との報告があった。

リダイレクト設定については田辺広報委員長より「広報委員会内で議論が進んでいないが、2022年3月末時点までには解決したい」との報告があった。

鳥海庶務理事より「旧環境と新環境の違いにより事務局に問い合わせが来ていることもあるため、サーバとWebサーバの切り分けを行う方がよい」という意見があり、田辺広報委員長より、「並行運用の弊害が発生しているとのことなのでリダイレクトについては急ぎ検討する」という回答があった。

A14. 春季研究発表会発表受付システムの運用の件

田辺広報委員長より説明があり、承認された。

鳥海庶務理事より、「コストも高いわけではないので今後の研究発表会などでも継続してこのシステムを使うためにAWSを継続するというのも選択肢の一つではないか」という提案があった。

【メール審議の確認】

- 2022年春季研究発表会及びシンポジウムの開催概要の件  
メールでの審議を行ったことについて確認した。

## 【報告事項】

### B1. 2022 年度予算案 1 次集計の件

諸星会計理事より説明があり、2022 年度予算案の集計結果について確認した。  
諸星会計理事より「各理事から提出された予算については一部集計が終わっていない部分があるため修正を行う予定であり、次回の理事会にて審議を行う」との報告があった。

### B2. 令和 4-5 年度会長候補者選出の件

原田庶務理事より説明があり、令和 4-5 年度会長候補者第 1 回選考委員会にて次期会長候補として山上伸様が選出されたことについて確認した。

### B3. 賛助会員年会費過払いの件

原田庶務理事及び滝沢事務員より説明があり、過払いの経緯と過払い分の返金額について確認した。滝沢事務員より、「返金については事務局の経理と相談し、可能な限り早い時期に行う」との報告があった。

### B4. 次回理事会議事予定

鳥海庶務理事より説明があり、今回は 2022 年 1 月 26 日(水)にオンライン(社会情勢的に余裕があれば対面とオンラインのハイブリッドも検討)にて開催し、議案の提出期限は 2022 年 1 月 16 日(日)であることについて確認した。

土谷編集理事より、「編集システムについて論文誌の方で切り替える件について 2022 年 1 月にずれ込む」との報告があった。鳥海庶務理事より、「移行完了について報告事項として追加する方針でよいか」という確認があり、土谷編集理事より、「その方針で問題ない」との回答があった。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
2021 年度 第 5 回理事会

議事録署名人

議長 (副会長)	代表理事	田辺	隆人
(副会長)	代表理事	田村	明久
(副会長)	代表理事	山田	昭雄
	監 事	細田	順子
	監 事	松林	伸生